

## 事業の背景・目的

ニホンイヌワシは狩場適地及び餌動物の減少や、大規模開発による生息環境の減少が理由で個体群の安定的な存続が危ぶまれている。そこで、繁殖地における保護対策の強化と併せて適切な施設において飼育、繁殖を行い、飼育下での個体群の維持を図るとともに、九州で唯一のニホンイヌワシ飼育園として、ニホンイヌワシの飼育繁殖を通じて生物多様性保全における生息域外保全取組みの認知度を高めていくことを目的とする。

## 事業の内容

令和2年度（2020年度）

概要：ニホンイヌワシの繁殖を目指し、飼育繁殖技術を確立する。

ア 飼育繁殖技術整備事業

ニホンイヌワシの飼育繁殖技術を確立するため、ニホンイヌワシの飼育繁殖実績のある園から講師を招いて職員研修を実施する。

## 得られた成果

- ・ コロナウイルス感染拡大の影響で講師を招いての職員研修が実施できなかった。リモートでの実施を検討したが、園内での機器等の整備ができておらず、実施を断念した。
- ・ 令和元年度にペアリングのため、メス個体を導入したが、搬入後まもなくアスペルギルス症で死亡。新たなメス個体の移動を調整したが、年度内に移動できる個体がおらず令和3年度以降に再調整。